

日本臨床検査専門医会

平成 25 年度第一回全国幹事会議事録

平成 25 年 1 月 25 日

日本臨床検査専門医会 平成 25 年度第一回全国幹事会議事録

開催日時：平成 25 年 1 月 25 日（金）15 時 30 分～17 時 30 分

開催場所：日本臨床検査医学会 事務所

出席者：佐守 友博会長、木村 聡、小柴 賢洋各副会長、
池田 均、菊池 春人、佐藤 尚武、東條 尚子、米山 彰子、
渡邊 卓各常任幹事、北島 勲、佐藤 麻子、清水 力、
諏訪部 章、田窪 孝行、松尾 収二、松永 彰、宮地 勇人、
村上 純子、盛田 俊介各全国幹事、土屋 達行監事

欠席者：下 正宗、高木 康各常任幹事、安東由喜雄、大谷 慎一、
尾崎由基男、河野 誠司、幸村 近、末広 寛、杉浦 哲朗、
藤原 久美、船渡 忠男、三井田 孝各全国幹事、高橋 伯夫監事

事務局：市川 綾子（敬称略）

定刻、佐守 友博会長挨拶の後、議長として佐守 友博会長を満場一致で選任した。議長は議長席につき開会を宣した。

審議事項

第一号議案 議事録署名人選任について

議長は本会の議事録署名人の選出を議場に諮ったところ満場一致をもって次のものを選任した。

議事録署名人 宮地 勇人、松尾 収二各全国幹事

第二号議案 平成 24 年度会計報告について

議長は、平成 24 年度の会計報告について、その詳細を東條 尚子庶務・会計幹事に説明させた。また、土屋 達行監事より、収支決算書、会計書帳簿、領収書その他の帳簿につき詳細な監査が行われ、適切に運営されていることを確認したことが報告された。以上より、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。なお、会計報告については、本議事録の末尾に添付する（資料 1）。

第三号議案 第 25 回春季大会について

議長は、第 25 回（平成 27 年度）春季大会の大会長を選任する必要がある旨を述べ、過去の開催順序に鑑み近畿地区が開催候補地域である旨を説明したところ、下記の者を推薦したい旨の発言があった。議長がその賛否を諮ったとこ

ろ、満場一致をもってこれに賛成した。よって議長は、下記の者を第25回春季大会長とすることに承認可決された旨を宣した。

松尾 収二 (天理医療大学 臨床検査学科教授)

第四号議案 第43回日本臨床検査専門医会総会における講演会について
(第60回日本臨床検査医学会学術集会時)

議長は、第60回日本臨床検査医学会学術集会会期中に開催予定の第43回日本臨床検査専門医会総会における講演会の講演内容について決定する必要がある旨を述べ、下記を議場に諮ったところ、満場一致をもって承認可決した。

日時：平成25年10月31日(木)(予定)

場所：神戸国際会議場

講演内容：臨床検査医ネットワークの構築について

座長：未定

演者：佐守 友博会長

第五号議案 第60回日本臨床検査医学会学術集会における合同シンポジウムについて

議長は、第60回日本臨床検査医学会学術集会 矢富 裕大会長から、共催シンポジウム開催について本会に依頼があり、諾否を決定する必要がある旨を述べ、議場に諮ったところ、満場一致をもって承諾することで、承認可決した。講演内容については、河野 誠司、盛田 俊介全国幹事が企画立案することとなった。

第六号議案 臨床検査医ネットワークの構築について

議長は、一般患者を含む国民、マスコミ、行政などから広く検査に関する質問やコンサルテーションを受けつけるシステムを作りたい。これを達成するため、支部単位で専門医のネットワークならびに専門分野別のネットワークを構築したい。専門分野は、①血液、②生化学・一般、③免疫・輸血、④微生物・感染症、⑤病理、⑥遺伝子その他とし、必要な情報収集は、要覧作成時にアンケート調査票を同封する形式を考えている。アンケート調査票には、会員の専門分野とさらに細分化した専門領域、自身のコンサルテーションネットワークなどを記載してもらいたいとの提案があった。

これに対し、様々な意見があった。

ネットワークづくりには賛成するが、患者からの質問を受けることについては、検査だけを切り離して質問されると回答は極めて難しく危険な面もある。一般的な回答と同じになるため困難ではないか（複数意見）。

質問に対し、個別に返答するのではなく、一般的回答とする方法もある。

内科では、メーリングリストを使用し、質問があると登録者全員に配信され、名乗りを上げた人が回答するという方法がとられており、個人の負担は大きくない。生化学とか血液とか分野に分けてしまうとかえって難しいのではないか。

看護師等のコメディカルや、臨床研修医からのニーズは高い。コンサルテーションに答えるネットワークづくりに賛成する（複数意見）。

小児白血病の診断に関するネットワークを持ち、他施設から主治医を介してコンサルテーションを受けている。このような今あるネットワークも利用してはどうか。しかし、診断困難例などはエキスパートに頼みたいという要望は多いが、受ける側は時間もとられ、責任も生ずるためストレスが大きい（宮地 勇人全国幹事）。

質問を誰が受け皿となり、どのように振り分けるのかを決めておかなければならない（菊池 春人常任幹事）。

以前、当会の Q/A に質問が殺到しパンクした経緯がある。まず、会員に限ったメーリングリストを利用し、会員どうしで質問をやりとりする方法が実際的である（土屋 達行監事）。

まずは、管理やメンテナンスが不要な形、すなわち、要覧に互いの専門分野や得意分野を掲載し、会員どうし個別に相談する形から始め、様子を見たとうえで発展させる方が現実的である（渡邊 卓常任幹事）。

Q&A の仕組みが構築できればアピールになる。しかし、一歩間違えると回答者の負担が大きくなり維持が困難になる。メーリングリストによるネットワーク作りから始め、その様子を見たとうえで分野責任者等などを決めていくなど発展させる方がよい（米山 彰子常任幹事）。

以上の意見を踏まえ、佐守 友博会長からは、ネットワーク作りと質問の受け付けを分け、まずは、ネットワークを作って専門医どうしで相談ができるシステムを作る方針としたい。まず、幹事の先生方に専門分野に関するアンケートを行うことにしたいと説明があった。

今後、さらに検討することになった。

第七号議案 日本臨床検査専門医会賞の創設について

木村 聡副会長から、臨床検査専門医として半生をささげ、検査の発展また

は後身の指導に功績があった人に賞を授与し、講演の機会も与えてはどうかとの提案があった。

宮地 勇人全国幹事より、藤田光一郎賞や近年は検査技師が受賞者となっている福見秀雄賞との住み分けをどう位置付けるのか。これらの賞の主催団体は、盤石な資金基盤を持ち、募集要項を公表し、授賞式や記念パーティも行っているとの意見があった。

これに対し、木村 聡副会長は、会員の励みになるよう、貢献した人に賞状を渡して表彰する簡便な形を考えているとの説明があった。

これについては、さらに検討したうえ、あらためて審議にかけることになった。

報告事項

1. 各委員会報告

① 情報・出版委員会

池田 均情報・出版委員長より、日本衛生検査所協会発行の「ラボ」に、平成 25 年 4 月から 2 年間掲載する新シリーズは、「健康診断で行われる検査を知る」をテーマとし、各項目とその執筆予定者の報告があった。また、年 1 回、日衛協からの取材を受け「ラボ」の別ページに、専門医の記事を掲載していただくことになったとの報告があった。

② 教育研修委員会報告

菊池 春人委員長より、平成 25 年度 第 3 回生涯教育講演会の開催予定について下記の報告があった。また、第 82 回教育セミナーについては 5 月 18 日(土)あるいは 19 日(日)を予定しているが、開催場所を含め詳細は未定である旨の報告があった。実技セミナーは行わない方針であり、実技研修が受けられるよう近隣施設を紹介する必要があるとの説明があった。

記

平成 25 年度 第 3 回 生涯教育講演会

開催日時：平成 25 年 6 月 28 日(金) 16 時～18 時
(第 23 回日本臨床検査専門医会春季大会の前に開催されます)

開催場所：湯本富士屋ホテル

250-0392 神奈川県足柄下郡箱根町湯本 256-1

TEL 0460-85-6111

参加費 : 2,000 円

《プログラム》

1. 外部精度管理を検査室運営にどう生かすか
前川 真人先生（浜松医科大学 臨床検査医学）
2. 臨床検査における利益相反-検査室は企業とどのように付き合うべきか-
佐藤 尚武先生（順天堂東京江東高齢者医療センター 臨床検査科）

③ 資格審査・会則改定委員会

渡邊 卓資格審査・会則改定委員長より、平成 24 年 11 月 29 日の総会で承認された、改定後の会則について説明があった。今回の改定で、70 歳以上の正会員は「有功会員」とすることになったため、対象者をリストアップする。また、細則に一部、不整合があるため、これらを今後、委員会で検討し、次回の幹事会、総会に諮る予定である。

④ 渉外・広報委員会

木村 聡委員長より、平成 25 年 7 月 19 日（金）に東京ガーデンパレスにおいて第 30 回臨床検査振興セミナーを予定しており、テーマについて今後アンケート調査を行う予定である。

⑤ 保険点数委員会

佐藤 尚武委員長より平成 24 年 11 月 30 日に開催された、日本臨床検査医学会臨床検査点数委員会との合同委員会について報告があった。アンケート結果をもとに平成 26 年度診療報酬改定での内保連へ提出する要望項目を決め、12 月 10 日、内保連に提出した。今後、平成 25 年 2 月 26 日の日本臨床検査医学会臨床検査点数委員会との合同委員会までに提案書案を作成して審議のうえ、3 月 10 日までに要望書を内保連に提出する予定である旨の説明があった。

記

当会から内保連へ提出した要望項目

1. 皮膚還流圧測定検査（SPP）（新規）
2. 血液採取（増点）
3. 血小板凝集能（増点）
4. EGFR、K-ras 遺伝子変異診断（増点）

5. 超音波断層撮影法（下肢静脈）（増点）
6. トレッドミルによる負荷心肺機能検査、サイクルエルゴメーターによる心肺機能検査（増点）
7. 終夜睡眠ポリグラフィー（増点）
8. 蛋白分画（包括項目からの除外）
9. シスタチンC（適応拡大）
10. 生理検査管理加算（医療課長宛て）

2. 専門医数増加方策検討WG

三宅 紀子委員長に代わり、木村 聡副会長から以下の報告があった。当会ホームページに、「ぼくらは臨床検査専門医」を新たに設け、臨床検査専門医のロールモデルを紹介する。原稿はすでに5件作成済みで、情報・出版委員長に原稿を送り、内容を検証中である。

3. 平成25年度 第23回春季大会について

大会長の渡邊 卓常任幹事より、通常の学会形式ではなく、各自の紹介やグループ共同作業などを入れ、会員どうしの親睦を深める機会としたい。是非、若い人材を連れて参加してほしいとの説明があった。意向調査をメールで行っているが、返事はまだ30名強であるとの報告があった。

記

大会長 渡邊 卓 教授（杏林大学病理系専攻 臨床検査医学分野）

開催日：平成25年6月28日（金）、29日（土）

開催場所：湯本富士屋ホテル

250-0392 神奈川県足柄下郡箱根町湯本 256-1

TEL 0460-85-6111

以上

佐守 友博会長より、第49回日本臨床検査医学会学術集会において、日本医師会との共催企画「臨床検査を学ぶ若手医師の集い」（平成24年11月30日）が開催された。若手医師・学生が多数参加した大変よい企画であったことから、このときの参加者を、春季大会に誘ってはどうかとの意見があるとの説明があった。

北島 勲全国幹事より、本会は専門医会であり、まず専門医どうしで将来のあり方等をよく話し合い共通のコンセンサスを得るべきである。若手等の参加勧

誘は来年度以降がよいのではないかとの意見が出された。

審議の結果、今回の春季大会は、専門医会会員を中心とする方針で承認された。

4. 平成 26 年度 第 24 回春季大会について

大会長の清水 力全国幹事より、平成 26 年 5 月から 6 月を予定しているとの報告があった。

5. 平成 24 年度第 3 回臨床検査専門医・管理医審議会報告

東條 尚子庶務会計幹事より、第 3 回臨床検査専門医・管理医審議会（平成 24 年 12 月 22 日開催）の報告があった。学術集会での日本臨床検査専門医会の講演会の取得単位について、講演会の時間が 50 分であるため、現行の 10 単位から 5 単位とすることになった。教育セミナーは今まで通り 10 単位とする。

平成 26・27 年度臨床検査管理医講習・認定試験は東條 尚子（東京医科歯科大学）が実行委員長として承認された。高橋 伯夫監事（日本臨床検査医学会教育委員長）から、専門医試験に対応するテキストの作成を検討してほしい旨の提案があり日本臨床検査医学会理事会で検討されることになった。

6. 選挙管理委員の任命について

佐守 友博会長より、平成 26・27 年度の会長・監事選挙の選挙管理委員として、以下の 4 名が任命された。

記

増田亜希子（東京大学医学部附属病院 検査部）

三宅 一徳（順天堂大学医学部 床検査医学講座）

安原 努（昭和大学医学部 臨床病理）

矢内 充（日本大学医学部 内科学系総合内科学分野）（敬称略）

以上

7. 平成 25 年度の予定について

東條 尚子庶務会計幹事より、平成 25 年の年間会議・講演会等予定について報告があった。なお、年間予定については、本議事録の末尾に添付する（資料 2）。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成 25 年 2 月 25 日

松尾 収二

平成 25 年 3 月 1 日

宮地 勇人

日本臨床検査専門医会 平成 24 年度会計報告

		項 目	予算額	決算額	予算と決算の差	
収 入	会費	会員会費	7,070,000	5,830,000	-1,240,000	
		賛助会員会費	3,800,000	3,700,000	-100,000	
		小 計	10,870,000	9,530,000	-1,340,000	
	その他	広告収入	400,000	320,000	-80,000	
		教育セミナー参加費	600,000	560,000	-40,000	
		生涯教育講演会参加費	100,000	140,000	40,000	
		振興セミナー参加費	100,000	156,000	56,000	
		利息	20,000	3,512	-16,488	
		雑収入	0	11,181	11,181	
		小 計	1,220,000	1,190,693	-29,307	
	入 金 合 計		12,090,000	10,720,693	-1,369,307	
	支 出	庶務経費	事務局雑費	150,000	138,819	11,181
			通信費（事務局）	170,000	137,556	32,444
人件費			1,800,000	1,778,810	21,190	
FAX 使用料			40,000	52,345	-12,345	
会員登録			10,000	630	9,370	
事務所維持費			1,570,000	1,593,928	-23,928	
設備費			150,000	65,730	84,270	
小 計			3,890,000	3,767,818	122,182	
事業経費		印刷代	2,000,000	1,675,129	324,871	
		通信費	800,000	608,767	191,233	
		春季大会補助金	500,000	500,000	0	
		臨床検査振興セミナー費	850,000	1,053,194	-203,194	
		教育セミナー費	1,150,000	1,075,503	74,497	
		会議費	1,000,000	886,279	113,721	
		交通費	70,000	72,780	-2,780	
		宿泊費	20,000	18,555	1,445	
		原稿料	100,000	60,000	40,000	
		HP 維持費	250,000	215,124	34,876	
		JCCLS 会費	50,000	50,000	0	
		WASPALM 会費	40,000	33,132	6,868	
		臨床検査振興協議会	300,000	300,000	0	
		内保連	100,000	100,000	0	
		予備費	920,000	69,330	850,670	
		小 計	8,150,000	6,717,793	1,432,207	
		出 金 合 計		12,040,000	10,485,611	1,554,389
収 支			235,082			
前年度繰越金			14,697,976			
次年度繰越金			14,933,058			

平成25年度 日本臨床検査専門医会 年間会議・講演会等予定表（平成24年12月21日現在）

資料 2

日 時	内 容	開 催 場 所	担 当 責 任 者
1月25日（金） 15：30～	第1回全国幹事会	日本臨床検査検査医学会事務所	庶務・会計幹事
3月23日（土） 15：00～	第1回常任幹事会	日本臨床検査専門医会事務局	庶務・会計幹事
5月18日（土）	第82回教育セミナー	慶應義塾大学(予定)	菊池 春人 教育委員長
6月28日（金）	第3回生涯教育講習会	湯本富士屋ホテル	菊池 春人 教育委員長
6月28日（金）～29日（土）	第23回日本臨床検査専門医会春季大会	杏林大学医学部臨床検査医学 湯本富士屋ホテル	渡邊 卓 教授
6月28日（金） 6月29日（土）	第2回全国幹事会 第42回日本臨床検査専門医会総会		庶務・会計幹事 庶務・会計幹事
7月19日（金） 14：00～17：00	第30回臨床検査振興セミナー	東京ガーデンパレス	木村 聡 渉外委員長
9月25日（水） 15：00～	第2回常任幹事会	日本臨床検査専門医会事務局	庶務・会計幹事
10月31日（木） ～ 11月3日（日）	第3回全国幹事会 第43回日本臨床検査専門医会総会・講演会	東京大学大学院医学系研究科臨床病態検査医学 神戸国際会議場	矢冨 裕 教授 庶務・会計幹事 庶務・会計幹事
12月4日（水） 15：00～	第3回常任幹事会	日本臨床検査専門医会事務局	庶務・会計幹事